

NEWS RELEASE

文部科学省「情報ひろば」にて広報企画展示を開催

地域を見つめ、三重から世界へ

～紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点～ 取組紹介

文部科学省では、文部科学行政の取組を広く国民にお知らせすることを目的として、省内の広報スペースを活用し、大学・研究機関等における成果や特色ある取組を展示物として紹介する広報を実施しています。

このたび、令和6年9月12日(木)～10月21日(月)まで、文部科学省 新庁舎2階エントランスにおいて、本学「紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点」の取組の企画展示を実施しますのでお知らせします。概要等は下記のとおりです。

記

1. 開催期間 令和6年9月12日(木) ～ 10月21日(月) (予定)
10時～18時 (入館時間は17時30分まで)
※土曜日、日曜日、祝日は休館
2. 開催場所 文部科学省 新庁舎2階 エントランス(東京都千代田区霞が関3-2-2)
※入場無料
※文部科学省「情報ひろば」ホームページ
<http://www.mext.go.jp/joho-hiroba/index.htm>
3. テーマ 地域を見つめ、三重から世界へ
～紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点～
4. 内 容 三重大学が位置する三重県は、東西の文化と歴史が融合する日本の中央に位置し、豊かな自然と歴史的な名所が豊富な土地です。県土は南北に長く、多様な地域特性からさまざまな課題を抱えています。本学は北から南の隅々までをつなぐ知の拠点として、教育力・研究力の強化と深化を図り、教育研究成果の社会への還元と地域創生に寄与することを重要な使命としています。
今回紹介する「紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点」は、多様な若者が三重県紀南地域に集い、紀南地域をフィールドとして学ぶオープンフィールドと、自ら描いた将来像に向けて挑戦しそれを実現させるアントレプレナー共創の場の形成を目指すプロジェクトです。
本企画展示では、ビジョン実現のための3つのターゲット「農業」、「教育」、「農村社会」に焦点をあてました。現実と仮想空間が融合しながらも人とのつながりを感じる新たな農村社会が再構築され、若者たちはその中で地域課題を解決し、自らの将来像を描いていく姿を、映画『浅田家!』のモデルとなった、津市在住の写真家 浅田政志さん撮影の写真とともにわかりやすく紹介します。

5. 展 示 物 パネル展示

紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点の取組

「三重大学と農業」

「三重大学のアントレプレナーシップ教育」

「三重大学のアグリテック教育」

「三重大学と農村社会」

【お問い合わせ先】

(本件に関する問い合わせ先)

三重大学企画総務部総務チーム広報室

TEL: 059-231-9794

E-mail: koho@ab.mie-u.ac.jp

(研究内容に関する問合せ先)

三重大学紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点

岡島賢治（プロジェクトリーダー）

TEL: 059-231-9354

E-mail: kinan-openfield-info@ab.mie-u.ac.jp